

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2017年4月10日（月）

NO. 740号 本号3頁

4月6日昼 共謀罪審議入りに抗議 650人

4月6日、自民党・公明党は午後1時から衆議院において、共謀罪の審議入りを強行する動きに対し、「共謀罪NO！実行委員会」と「総がかり行動実行委員会」は、正午から午後1時10分まで、衆議院第2議員会館前で、共謀罪審議入りに抗議行動を行いました。緊急な呼びかけにもかかわらず650人が参加しました。

駆けつけた共産党仁比聡平議員、社民党又吉征治議員、民進党逢坂誠二議員、沖縄の風の糸数慶子議員が、「4月いっぱい衆議院を押し通すと自民党は言っている」「金田法相が答えられない法案など、断じて許されない！」「オリンピックができないなどどうそを言って押し通すことは許されない」「野党と市民の共同で廃案にさせよう」等と、決意表明しました。共産山添拓議員、社民福島瑞穂議員も参加し、紹介されました。

その後、憲法学者の清水雅彦氏、海渡雄一弁護士、日本山妙法寺の武田隆雄氏、アムネスティインターナショナル日本支部の石原さん、法律家団体、藤沢の会の人々が決意表明しました。

参加者は、「憲法違反の共謀罪は廃案！」「内心の自由奪う共謀罪反対！」「運動弾圧の共謀罪反対！」「表現の自由奪う共謀罪はやめろ！」等とシュプレヒコールしました。最後に、主催者より、6日夜の日比谷野音での集会の成功に向けたとりくみなど、今後の取り組みの行動提起がありました。



4月6日夜 3700人抗議！「話しあうことが罪になる共謀罪法案の廃案を求める4・6大集会」

「話しあうことが罪になる共謀罪法案の廃案を求める4・6大集会」が6日夜、日比谷野外音楽堂で「共謀罪NO！実行委員会」と「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」主催で開催され、3700人が参加しました。場内は満員・立ち見、場外にあふれ、午後1時からおこな



われた審議入りに抗議する熱気、必ず廃案にするという決意に満ちた集会となりました。全国各地の取り組みとの連帯も強調されました。

主催者あいさつした、弁護士の海渡雄一さんは、「この国は、戦争か平和かの岐路に立っている。法案の廃案をめざして最後までたたかおう」と語りました。

集会には立憲野党4党と沖縄の風の代表も参加。民進党の有田芳生議員、日本共産党の田村智子議員、社民党の福島瑞穂議員、自由党の山本太郎議員、参院会派「沖縄の風」の伊波洋一議員がスピーチ。各氏は「市民と野党が力を合わせて必ず廃案に追い込もう」と呼びかけ、壇上に並んでプラカードを掲げ、「市民と共闘して必ず廃案に！」とエールを交換しました。

日本ペンクラブ、安保法案に反対する学者の会、立憲デモクラシーの会、沖縄・一坪反戦地主会 関東ブロックの各代表、高山佳奈子京大教授の5氏が発言しました。日本ペンクラブ専務理事で、

ノンフィクション作家の吉岡忍さんは、「国民の思想の自由を奪う法律は、いつも拡大解釈されると歴史が証明している。私は共謀罪に反対します」と力を込めました。また、立憲デモクラシーの会の山口二郎さん（法政大学教授）は、「野党4党とも協力していく。必ず廃案に追い込み、安倍政権を倒す決意でたたかいましょ」と訴えました。

続く国会請願デモは夜遅くまで続きました。衆参の議員面会所には、民進党、共産党、社民党の大看板が掲げられ、野党がそろって請願を受け付け、市民と野党の共闘を象徴する場面となり激励しあいました。

地方議会の「共謀罪」懸念を求める意見書可決は、44 議会に！

「テロ等準備罪」＝「共謀罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案に懸念を示し、撤回や慎重な対応を求める地方議会の意見書について、前号では3月29日段階で31地方自治体と記載しましたが、報道によると、4月5日までに少なくとも13議会増えて44議会で可決され、衆参両院や安倍晋三首相に提出されたことが地方議会や両院事務局などへの取材で判明したとのことです。

県議会では三重、宮崎の2件、市町村議会では11都道府県の42件です。このうち37議会は改正案への反対を表明したり、撤回や国会提出の断念を求めたりする内容でした。



地方新聞、社説で、大半が「懸念」表明

「テロ等準備罪」＝「共謀罪」法案の21日の閣議決定を受け、多くの新聞が翌22日朝刊などの社説・論説で扱っています。全国紙は論調が分かれたのに対し、主要地方紙は大半の30社以上が懸念を表明しました。

毎日新聞は「組織犯罪が計画段階で幅広く処罰可能となる本質は変わらない」、朝日新聞は政府の説明に「ごまかしや疑問がある」として法案を批判しました。日経新聞は「十分な時間をかけて議論を尽くす必要がある」と求めました。一方、読売新聞は「国民の安全確保に資する法案であると、堂々と主張すべきだ」と肯定的に捉えています。

国連安保理決議もない！国際法違反の

米国のシリア攻撃 抗議の声をあげよう！

米国トランプ政権は6日（日本時間7日）、シリア北部での化学兵器による攻撃で多数の死傷者が出たとの報道を受け、シリア中部の空軍基地へ59発のトマホークを撃ち込みました。国連安保理の決議もない国際法違反の攻撃です。化学兵器の使用は誰によるものであれ、人道と国際法に反する許されない行為です。しかし、今回の攻撃はシリアの化学兵器問題の解決につながらず、シリアの6年に及ぶ内戦の終結をさらに遠のさせる暴挙でしかありません。今回の危険を広げるトランプ政権の「米国第一」の暴挙に抗議する声を上げましょう。

また、安倍首相はいち早くトランプ政権の「決意を支持する」と表明しました。重大なのは、「東アジアでも大量破壊化学兵器の脅威は深刻」と北朝鮮の核・ミサイル開発を念頭に高く評価したことです。北朝鮮問題も軍事解決はありえません。北朝鮮には、国際社会の結束した経済制裁の実施と、外交交渉で核・ミサイル開発の放棄を迫ることが重要です。安倍政権は地域と世界に深刻な事態をもたらす軍事攻撃を米国に促すような態度はやめるべきです。安倍首相の対応にも抗議の声をあげましょう。

衆議院憲法審査会（4月13日）の傍聴を呼びかけます！

衆議院憲法審査会が4月13日（木）午前9時から開催されます。傍聴を希望される方は、4月12日・午後3時までに電話かFAXでご連絡頂くようお願いいたします。

- ◇ 傍聴希望の方は3月13日(木)・8時40分、衆議院議員面会所に集合してください。
- ◇ 4月13日衆議院憲法審査会テーマ
「国と地方のあり方(地方自治等)」各党意見表明
なお、4月20日も「地方自治」をテーマに参考人質疑が同時刻で開催されます。

共謀罪阻止を訴える3分間で宣伝スポット<その3>

募集! 各地・各団体の短時間で訴えている原稿がありましたら、この紙面で紹介しますので、憲法会議まで送ってください。今号では、大阪憲法会議・共同センターの「憲法施行70年 憲法を守りかそう! 『共謀罪』の国会提出を許すな!」のスポット(例)を紹介しします。

戦争への道＝「共謀罪」NO!

みなさん、安倍内閣は「心の中」を処罰する憲法違反の共謀罪法案を閣議決定し、4月6日に法案の国会審議を強行しました。森友問題をはじめ、さまざまな問題に背を向けての法案の審議強行を断じて許すわけにはいきません。

みなさん、共謀罪は実際に犯罪行為がなくても、共謀、相談や計画をただけで処罰するという近代刑法の原則を大きく変えてしまうものです。何が犯罪の「準備行為」にあたるのか、どのような団体が「組織的犯罪集団」であるかを判断するのは捜査機関であり、共謀の計画と勝手に判断されて、国民の生活が盗聴や監視の対象にされてしまいます。

政府は「国際組織犯罪防止条約」を締結するためといいます、この条約はマフィアや暴力団への対処が目的であり、テロ防止が目的でないことは明らかです。オリンピックの「テロ対策」などはごまかしの最たるもので、日本はすでにテロ防止のための13の国際条約に基づき国内法を整備しており、新たな法律は必要ありません。テロ対策は国民をだます口実にすぎません。

この間の野党の国会論戦で明らかになったように安倍政権が示した共謀罪創設の口実はことごとく崩壊しています。「共謀罪」は、その危険な内容が厳しい批判を浴び、過去3回廃案になっています。「テロ等準備罪」と名前を変えてもねらいは、モノ言えぬ社会、監視・密告社会をつくることにあります。その先にあるのは「戦争する国」です。幅広い市民と野党の共闘を広げ、必ず廃案にしましょう。

各地のとらきみ

兵庫 「審議入り」に県内8団体が抗議の声をあげる!

共謀罪の審議入りを受け、共謀罪法案に反対する兵庫県内の八つの市民団体が6日、神戸・元町で抗議の声を上げました。兵庫労連などが加盟する「憲法改悪ストップ兵庫県共同センター」や「原水爆禁止兵庫県協議会」などが主催し、約60人が参加しました。

同協議会の梶本修史事務局長(68)は、改正案が適用対象を「組織的犯罪集団」とし、政府が「一般市民は対象にならない」と説明している点に触れ「法律に一般市民の定義はなく、取り締まる側が対象を決めることになる。普段の会話を監視され、自由を奪われる社会を生みかねない」と懸念を示しました。

「明日の自由を守る若手弁護士の会兵庫支部」の支部長、八才(やさい)は「犯罪の危険性はあるが、現行の法制度で安全な社会は実現されている」とし、「多くの人が今後の審議に関心を持ってほしい」と呼び掛けました。



悪